

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 4 月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	接遇や身体拘束の勉強会を通して、内容と弊害を職員は周知しているが、言葉による拘束について理解と実践が必要である。	職員一人ひとりの意識を高め、実践に繋げる	接遇や身体拘束の勉強会に参加する。勉強会を重ね、職員の理解を深める。	6ヶ月
2	23	利用者の生活歴や趣味、把握した内容を個別に記録し、支援に役立てる仕組みがない。	利用者の生活歴や思いを理解しながら、日々の支援に役立てる。	アセスメントシートの中に生活歴や趣味、特記事項の欄を設ける。	6ヶ月
3	52	脱衣所・浴室での漂白剤等の管理体制	不慮の事故が起きないように管理を行なう。	漂白剤等は利用者の目の届くところに置かないようにする。 入浴時は必ず利用者から目を離さないよう見守りを行なう。	6ヶ月
4	35	避難訓練時の地域住民の参加ができていない。自然災害マニュアルは整備できているが、それに基づく訓練が未実施である。	避難・自然災害訓練時には消防署や消防団立会い、地域住民参加での訓練を実施する。	避難訓練実施計画書を作成し、消防署や消防団に立会いを依頼する。また運営推進会議で地域住民の方に周知してもらい、参加をお願いする。	6ヶ月
5					ヶ月